

(3) 農福連携による就労支援の促進

1 農業経営体における新たなビジネス展開（福祉事業所経営）への支援

(活動の内容)

農業経営体の新たなビジネスとして福祉事業所経営を提案し、経営収支計画の策定、事業所設立の事務・運営などを支援
農業経営体の新たなビジネスモデルを育成し、障がい者就労拡大の可能性を検証

(支援の対象)

農業経営の多角化・社会貢献を目指す農業経営体: K社(津市)

(具体的な取り組み)

6月28日 支援対象者の選定

7月10日 支援対象者の意向把握及び現地調査、今後の支援スケジュールの確認

2 福祉事業所における農業参入への支援

(活動の内容)

農業に参入した福祉事業所のうち就労継続A型は、安定した経営を行う事例が少ないことから、農業参入する事業所に対して、栽培品目の選定、経営収支計画の策定、栽培技術の習得などを支援
福祉事業所(就労継続A型)の新たなビジネスモデルを育成し、農業経営の可能性を検証

(支援の対象)

農業参入を希望する福祉事業所(就労継続A型): S社(桑名市)

(具体的な取り組み)

6月 8日 営農計画の聞き取り、栽培現地調査

6月12・18日、7月4・10日 営農計画の策定支援(桑名普及センター)

3 選択と集中プログラム（農福連携・障がい者雇用推進事業（平成24年度））

農業経営体に対するアンケート調査

障がい者雇用の現状・今後の雇用意向を把握

障がい者雇用事例調査

農業に参入する福祉事業所: 8事業所、障がい者を雇用する農業経営体: 6経営体

人材(農業ジョブトレーナーなど)育成の体系化の検討

農業大学校でのカリキュラム化(福祉の基礎知識、資格取得)、支援員向けの農業基礎講座の開設

障がい者が担える農作業領域拡大の検討

作業補助機器の開発、農作業の細分化、作業場の改良などの工夫・改善を現地で実践(民間に業務委託)